



☆「やさしい鬼さんが来た！“鬼はうち、福もうち”」

豆まきの日に、たんぽぽ組さんが鬼の面をつけて、ひよこ組に入って来ました。子どもたちは、一斉に入口の方に顔を向け表情が固まり、泣きそうになりましたが、お面の端からそっと顔を見せにっこり笑うたんぽぽ組の子どもたちに、“何だ、お兄ちゃんたちだ！”と柔らいだ表情になりました。ひよこ組さんを怖がらせないようにという心づかいをしてくれた、優しい鬼さんと福の神さんと一緒に風船をポンとついたり、投げたりして楽しく遊びました。



☆ママ・ミニ・メール(6)

お母さん方に遊びやおやつのレシピ、困った時の対処法など、いろいろな情報をお聞きしました。
今回は、藤井さんです。

優芽ちゃんは、お姉ちゃん、お兄ちゃんの中で一番早起きです。まだ、眠たそうにしている2人に、パンを持って行ってあげたり、着替えを渡しに行ったりとお世話を焼いてくれるしっかり者です。お兄ちゃんが眠たくて泣いていても、頭をなでてヨシヨシもしていて頼もしいです。



☆「菜の花さんたちが子どもたちを待っていました！」

立春を実感するような暖かな日、園庭には菜の花がいっぱい咲いていました。外に出た子どもたちはすぐに追いかけてっこをしながら「キャッキャッ」と声をあげて笑って走りました。まだ、チョコチョコとおぼつかない足取りの時もありますが、園庭中をぐるぐる走り、子どもたちは疲れを全く知りません。シーソーにも関心を持ち、手を出すので乗せると、しっかりつかまり、大きくユラユラ揺らしても上手にバランスをとっていました。

手足の力が強くなり自分で動きまわること自信を持ってきた子どもたちが、早春の光の中でキラキラしていました。



☆ワタシたちのお家よ！

広い保育室ですが、最近子どもたちが部屋の隅のベッドの下や重ねたマットで、遊ぶことが多くなってきました。保育士から隠れて、自分たちだけで遊びたいのかな？と思い、少し模様替えをしました。早速、並べた椅子に5、6人でグューグューに座ったり、寝転んだり、それでもみんなにここに顔です。玩具棚から本や人形を自由に出しますが、保育士がお片付けに誘うと自分たちで片付けるようになっていきます。

子どもたちの落ちつける場所、楽しい遊び場を大切にして、子どもたちが満足して遊べるようにしていこうと思います。



すみれぐみだより



平成31年2月9日(土)

昨年に比べ、今年の冬はそれほど寒い日が少なく感じられます。インフルエンザなどの流行の感染症にも負けず毎日過ごしている子どもたち。今年度も残り、2ヶ月切りましたね。1日1日を大切に、今月も体調に留意しながら思いっきり遊んで楽しんでいきたいです。



「すみれぐみにも春がきたよ」

本来は、2月3日(日)が節分の日ですが保育園では1日に節分集いをしました。たんぼぼ組の鬼さんがすみれ組の部屋に遊びに来てくれたのですが、まひろちゃんは驚いたようで出入り口の方へ逃げていっていました。たんぼぼ組のお兄ちゃん、お姉ちゃんと分かるとほっとした様子のまひろちゃん。みんなでたんぼぼ組が作ってきてくれた鬼の風船を部屋につり下げると、鬼の顔が動物に見えたようで「ぞうさん」「ぶたさん」と風船を指さして保育士に知らせていました。

「心の鬼を退治しよう」と言われるとみんなと一緒に新聞紙で作った豆を風船に投げ、豆まきを楽しみました。最後にたんぼぼ組が手作りのお花をくれると「かわいいね～」と子どもたち。すみれ組の部屋にすてきな春がやってきました。



「小麦粉粘土の作り方」

粘土遊びをして口に入れて食べてしまうのが心配という方でもご家庭で簡単に粘土を作ることができますので紹介します。

- *小麦粉・・・300グラム(小麦粉:水=3:1)
- *水・・・80~100cc
- *塩・・・小さじ1(防腐剤の代わり)
- *油・・・少量(手触りが滑らかになります)
- *食紅・・・少量(色などはお好みで)



粘土をちぎったり、こねたりと手を使って自由に感触を楽しんでいます。触ることによって粘土の変化が生まれることに気がつき、いい刺激になります。

ちゅうりっぷぐみだよ

平成 31 年 2 月 9 日 (土)

立春を迎え暦の上では春になり、寒さの中にも暖かい日差しを感じるが増えてきました。ちゅうりっぷ組の子どもたちは、園庭で走ったりままごと遊びで美味しそうにご飯を食べる表現をしたりと元気いっぱいです。

この時期、風邪やインフルエンザが流行っているので、体調には気をつけて過ごしていきたいと思います。

春が届いたよ

2月1日、たんぼぼ組(5歳児)の鬼さんたちが鬼のお面を被り、ちゅうりっぷ組にやってきました。初めは驚いたようで離れて様子を見ていた子どもたちでしたが、いつも遊んでくれるお兄さんやお姉さんだと分かると、ほっとした表情で近づき「おにのパンツ」を踊りました。「一緒に豆をまいて、心の鬼を退治しましょう」という鬼さんたちの声かけで新聞紙で作った豆で豆まきが始まりました。

たんぼぼ組が作ってくれた鬼の的に向かって「おには一そと」と力を込めて豆を投げていました。

豆まきが終わると、たんぼぼ組の福の神さんが「春を届けに来ました」と言い、お花をプレゼントしてくれました。「また来ますね」と言って帰ろうとするたんぼぼ組さんに、「バイバーイ」「またね」と握手をしたり、笑顔で手を振ったりしていた子どもたち。

窓から太陽の光が射し込んですっかり春の雰囲気が部屋いっぱいに広がってあたたかな豆まきでした。



‘一つの輪’

♪てをつなご〜♪の歌を歌いながら、子どもたちが自分たちで手を繋ぎあって大きな輪が出来るようになりました。以前は、いくつかつの輪になったり手をつなぐのを嫌がったりしてバラバラだったので、今では子どもたちだけで輪が出来るようになりました。そして、保育士が♪ひらいたひらいたなんの花がひらいた♪と歌い始めると、子どもたちも一緒に歌い始め大きな輪から小さな輪になったりして、みんなの心と身体が集まる時間となっています。



〜わらべ歌あそび〜

歌詞は♪まめちよ まめちよ

いったんまーめ ぼーいぼい

いんねんまーめなまくせ

すずめらも まわっから

おれらも まわりましよう♪

2月の豆まきをイメージした遊びです。子どもたちは両手を広げピョンピョンはねて表現しています。まるで豆がはじけるように歌に合わせて踊っています。

担任：中村、唐木、山崎野



平成 31 年 2 月 9 日 (土)

『立春』を過ぎ、福の神が春を運んで来ました。朝夕は陽が長くなり日中はポカポカと穏やかな暖かさを感じます。園庭の片隅に菜の花が愛らしく咲いていますので、子どもと一緒に春を探してみたいかでしょうか…
今年度もあと少しとなり、伸び伸びと育てている 16 名の子ども達と一緒に過ごすのもあと何日でしょうか？嬉しくもあり寂しく感じている保育士 2 人です。

● 「鬼は外！福は内！」

節分・豆まき会で、元気な声が響きました。

自分で作った鬼の帽子をかぶると、たんぼぼ鬼がやって来て一緒に遊んでくれました。そのお蔭で鬼が怖い存在ではなくなり、遊戯室の赤鬼もしっかり大豆でやっつける事が出来ました。「福は外！」と言っている子がいました。理由を聞くと、「だって、鬼がかわいそうやもん…。」なんだか、心の片隅が熱くなりました。心も体も育っています。



● 渦巻きじゃんけん

中と外 2 つのチームに分かれ、渦巻きの道を通して出会ったところで「じゃんけんぽん」。勝ったら進み、負けたら次の子がスタートします。昔からある簡単な遊びですが、自分達だけで遊べるのでいつも渦巻きの回りは賑やかです。

● カルタ取り

「先生カルタやろう！」「いいよ！」と参加しますが…五感で覚えている子ども達にはとても勝ちません。子ども達はそれが楽しみで、何度も繰返し誘われます。子どもも大人も本気で楽しめる伝承遊びです。

● 今月の絵本…ティラノサウルスシリーズ

暴れん坊で いじわるで ずるくて 自分勝手な恐竜がいました。その名はティラノサウルス。目の見えない子どもの恐竜やまだティラノを見た事がない子ども恐竜、一人ぼっちな寂しい恐竜達と出会っていくうちに、ティラノサウルスに優しさや愛情が芽生えていくというお話です。読み進むと子ども達は真剣に聞き入り、悲しそうな表情になってきます。



こすもすぐみ担任・・桑原、中西



平成31年2月9日(土) 発行

立春を迎え、温かい日が増えてきました。園庭の菜の花もつぼみが花を開かせて、春の訪れを感じられるようになりました。「なんか今日は温かいね」や「ダンゴ虫が出てきたよ」「他に春はないかな？」と子どもたちは園庭を駆け回り、春を見つけて楽しんでいます。



★大丈夫だよ★

1日(金)に、ふたば保育園にも鬼がやってきました。ひまわり組では、自分の心の中の「寝ぼすけ鬼」や「すぐ怒る鬼」をやっつけるためにいろいろな素材を使い、鬼や福の神、豆を入れる柵を作っていました。鬼がやってくると、驚いて少し距離を置く子どももいましたが、豆を投げて鬼を追い払っていました。陽輝くんも鬼に豆を投げようと豆粒をしっかりと持っていたのですが、その雰囲気には驚いたようで泣いてしまいました。しかし、あきらくんとそうすけくんが傍に来て、「はるくん、大丈夫よ」「あれはね、中に先生がおるんよ」と一生懸命陽輝くんが安心するような声をかけていました。友達のために泣き止むまで傍で声をかけ続ける子どもの姿を見て、友を思いやる優しい心が育っていることを私はとても嬉しく思いました。最後は陽輝君も笑顔で鬼とお別れの手を振って、みんなで福の神を迎えることができました。



園庭で遊んだある日の出来事です。「先生！歯磨き粉のにおいがする！」という声が出て見ると、なおきくんが花壇に植えられているハーブの葉を持っていました。摘んだ時のちぎり目や、こすった部分からハーブ特有のにおいがして、生活に身近な「歯磨き粉」に近いにおいであることに気づいたようです。それを聞いた周りの子どもたちも集まり一枚ずつ葉を取りにおいを嗅いでいました。「本当！歯磨き粉だ！」「ハーブっていう葉っぱがあったんやね」と新たな発見と驚きに喜んでいました。においから興味が広がり、子どもたちの学びへとつながっているようで、花壇のハーブも喜んでいてほしいです。



4歳児担任：西島・井上



発行：平成31年2月9日（土）

立春を迎え、子どもたちは温かくなってきた陽差しの変化に気づき、「おひさまが当たるとぼかぼかする」「福の神さんが来てくれたから、春が近づいてきてる！」と少しずつ訪れる春を感じているようです。そんな子どもたちの心や身体の育ちを支えながら、力を蓄えた小さなつぼみが卒園に向けて、豊かな花を咲かせられるように願っています。

わたしたちの節分！

1月中旬のことです。カレンダーをみて“もうすぐ豆まきだ”“去年は、鬼が来たよね”と節分を楽しみに話をしていた子どもたち。そこで子どもたちに、どんな節分にしたいかなげかけてみると、「どんな豆まきにする？」「楽しい豆まきがいいよね？」と話し合いが始まりました。どうしたら0歳から4歳までの子どもたちが、楽しく豆まきに参加できるのか、初めはなかなかアイデアがでず、子どもたちも“楽しい豆まきってどうしたらいいのかな…”と悩んでいましたが、少しずつ「節分のこと考えてきた？」「こんなの面白くない？」と子どもたちの想いもふくらんでいき、「赤ちゃんたちは鬼が怖いと思うから、たんぼぼ組が優しい鬼になろう！」「小さいお友だちは豆投げるのは危ないから、新聞紙で豆をつくる？」と年下の友だちを気遣い、どうしたら鬼を怖がらずに、豆まきに参加できるだろうかとアイデアを出し合いました。

そして、0歳から2歳のクラスでは「よくボールや風船で遊んでいるから、風船に鬼の顔をつけて遊んだら怖くないよね」「新聞紙の豆だったら危なくないから、的当ても楽しいと思うよ」と、それぞれのクラスがよく遊んでいる遊びの中に豆まきを取り入れることにしました。



3. 4歳のクラスでは「こすもすさんは運動会で玉入れをしたから、新聞紙の豆の玉入れができるよね？」「ひまわりさんは、もう少しでたんぼぼになるから、少し難しいポウリングがいいんじゃない？」と子どもたちなりに3歳・4歳の育ちに合わせた遊びを考えたり、「豆まきのことを歌で伝えよう！」と節分にはなぜ豆まきをするのか、節分を迎えると少しずつ春がやってくるということを『ハッピーチルドレン』の替え歌をつくり、その歌に振りをつけて表現したりしました。

子どもたちの思いはどんどん溢れ、節分への思いは大きく膨らんでいき、豆まきの玩具作りが始まると“こっちはこうした方がいい”“これはもっとこうしよう”と友だちと創りあげていく喜び、楽しさに生き生きとした表情で取り組んでいた子どもたち。友だちと一緒に表現することを楽しむ中で、一人ひとりの感性と表現が異なることに気づき、お互いに受け入れていく姿もありました。

節分の当日は、「赤ちゃんたち泣かないかな」「作った玩具で遊んでくれるかな」「何かどきどきしてきた」と緊張と不安に硬い表情でしたが、たんぼぼぐみの優しい鬼たちは、保育士でも難しいと思うことを友だちと協力し創りあげ、やり遂げたことが達成感や安堵感となり「はあー。うまく行って良かった」「赤ちゃんたち泣いてなかったし、玩具も喜んでくれたよ」と春の訪れを感じさせるぱっと花の咲いたような表情で話しをしていました。